



# 日産自動車におけるEDI標準化の 取り組み

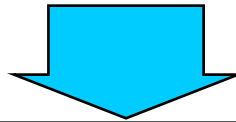
日産自動車(株)  
木下修一

# 自動車業界における標準化の取り組み



## ・EDI標準化

各OEM毎のEDI化を経て自動車業界としてのEDI標準作成へ



自動車業界におけるEDI標準として、国際標準であるUN/EDIFACTを採用し、2003年度より各社実用化する。

2000年8月電子情報委員会決議

2004年度までに下記情報種において各社毎の対応完了

DELFOR(注文内示・確定)

DELJIT (納入指示)

DESADV(出荷)

RECADV(受領)

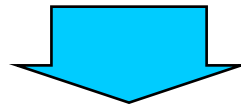
INVIOC(買掛計上支払通知)

# 自動車業界における標準化の取り組み



## ・帳票標準化

部品業界より「情物一致の原則」に基づき現品票等の帳票類の“業界標準化要望”が高まってきた



自工会と部工会の連携により

将来を見据えたあるべき姿を想定し

**“標準帳票ガイドライン”**を作成(2004年4月第3版)

2005年度に各OEMにおいて移行完了

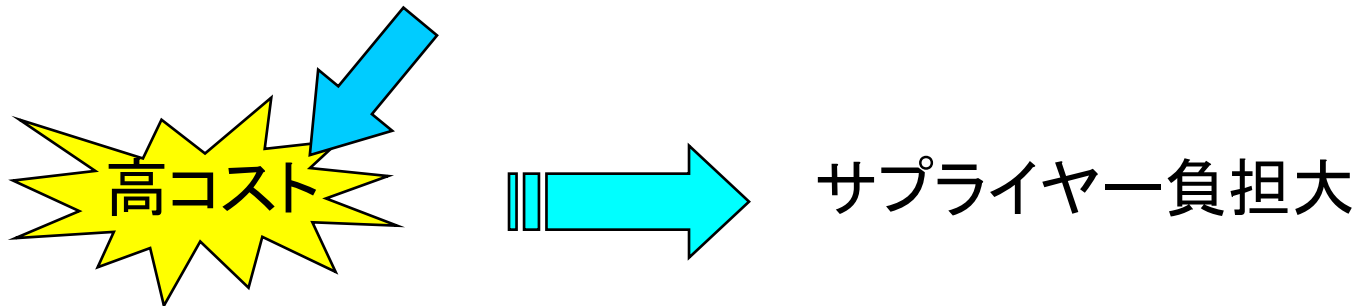
# 日産自動車における取り組み



## ・旧システム(PARTNER)の課題

### ・システム利用コスト

サプライヤー側の業務サポートを含む多機能パッケージ



### ・標準化対応コストとシステム更新計画

‘05年に更新を計画しており無駄な投資は避けたい

自工会標準対応とPARTNER再構築を合わせて

‘03年8月に前倒しで実施することを決断

# 日産自動車における取り組み



## ・新PARTNERのコンセプト

### デファクトスタンダードのIT技術をベースとしたシステム構築

日産サプライヤーポータルで新規構築するプラットホームを使用した  
Web方式のシステム → 多端末化の解消

### 業界標準の適用

JAMA・JAPIA標準帳票の採用

UN/EDIFACTによるEDI情報提供

自工会推奨のアプリケーション共通基盤(CAI)データ交換BOXの採用

### トータルコストの抑制

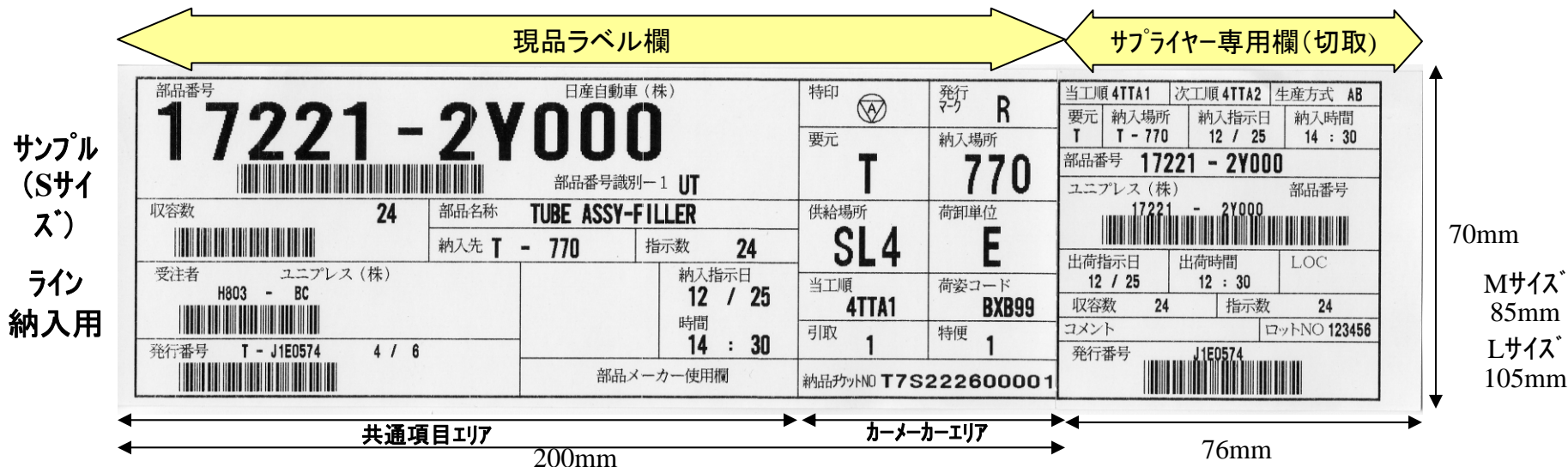
ラベル半券入力による納品書出力を廃止(出荷作業軽減)

検収作業の変更(トラック滞留時間の削減)

# 新PARTNERの主な変更点



## ・JAMA・JAPIA標準帳票の採用



### 1) ラベル出力のオプションソフトを準備

中小サプライヤーを考慮し、最低限ビジネスが成立するよう配慮

### 2) プリンターベンダーの採用拡大

1社→2社

# 新PARTNERの主な変更点

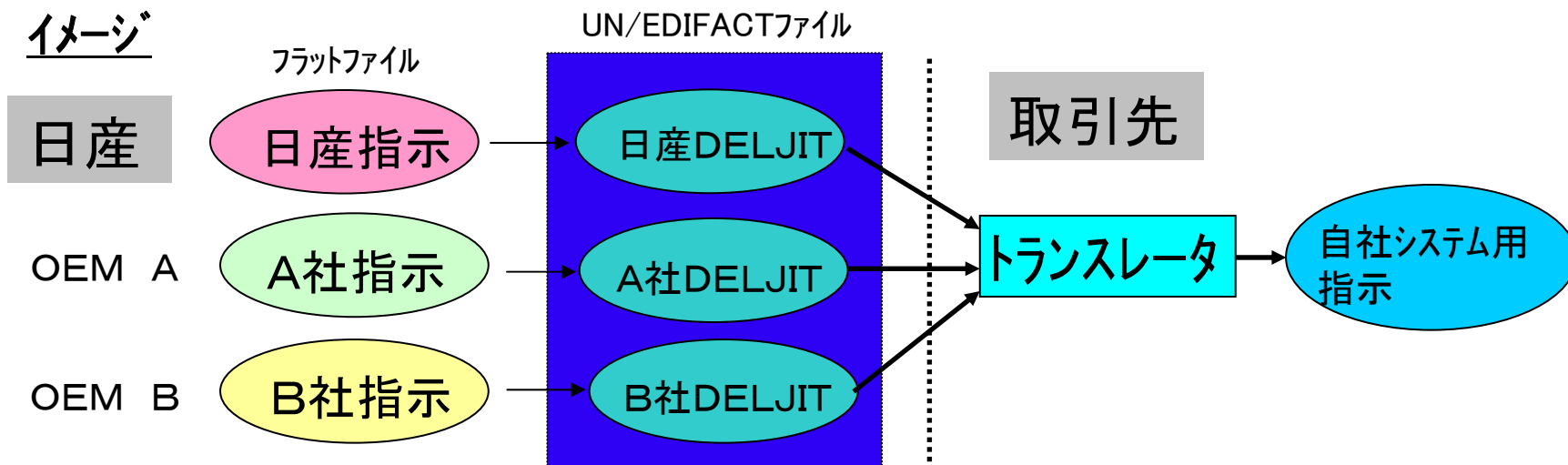


## ・UN/EDIFACTの採用

PARTNERでは、下記4情報についてUN/EDIFACTで取引先に送信

UN/EDIFACT対象情報名	UN/EDIFACTメッセージタイプ
1) 3ヶ月インフォメーション	DELFOR
2) 月間・週間インフォメーション	DELFOR
3) 指示	DELJIT
4) 到着実績	RECADV

上記1)～4)の情報はUN/EDIFACT形式のファイルのみの送信。

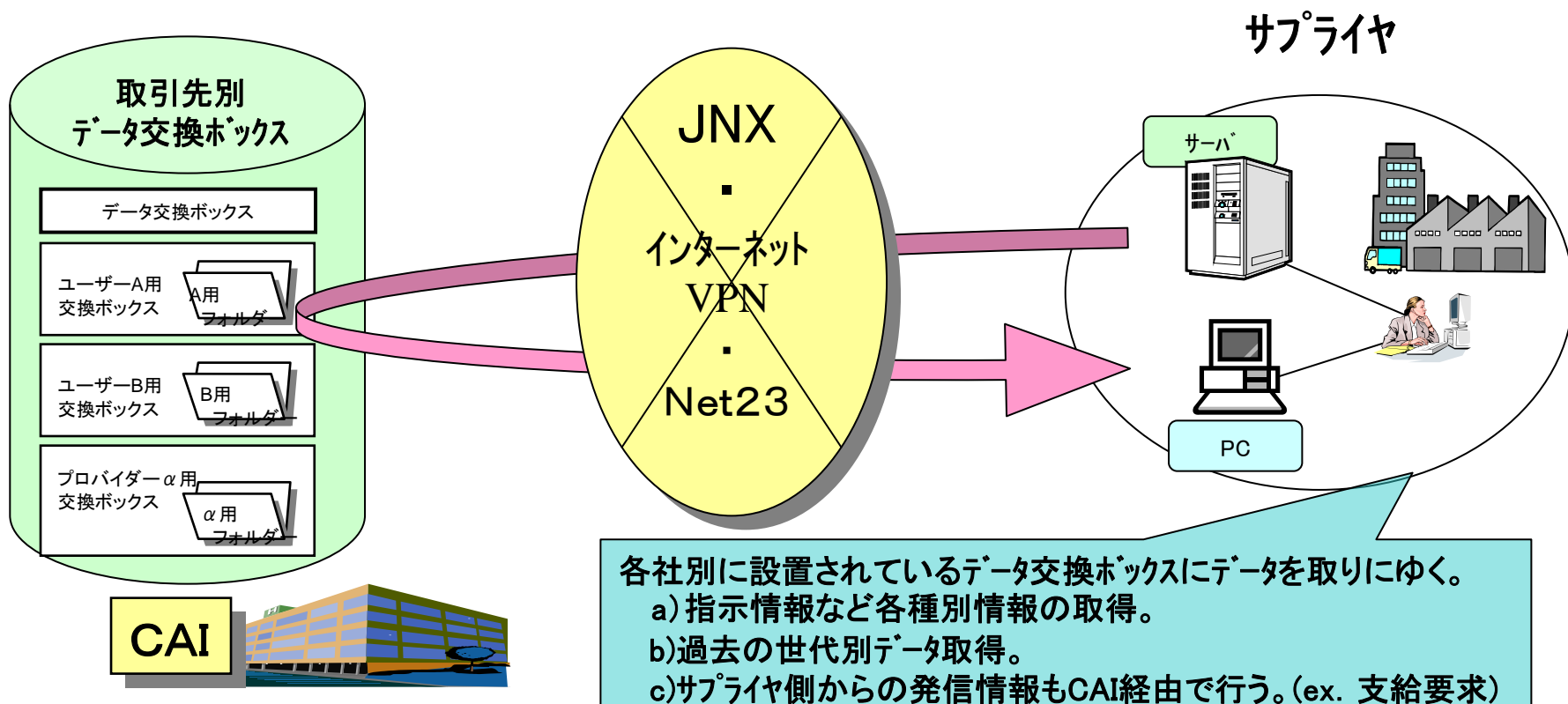


# 新PARTNERの主な変更点



## ・アプリケーション共通基盤(CAI)のデータ交換BOXの採用

アプリケーション共通基盤(CAI)は、自動車工業会の主導のもとで、『業界推奨』の企業間電子商取引のシステム基盤として企画・構築



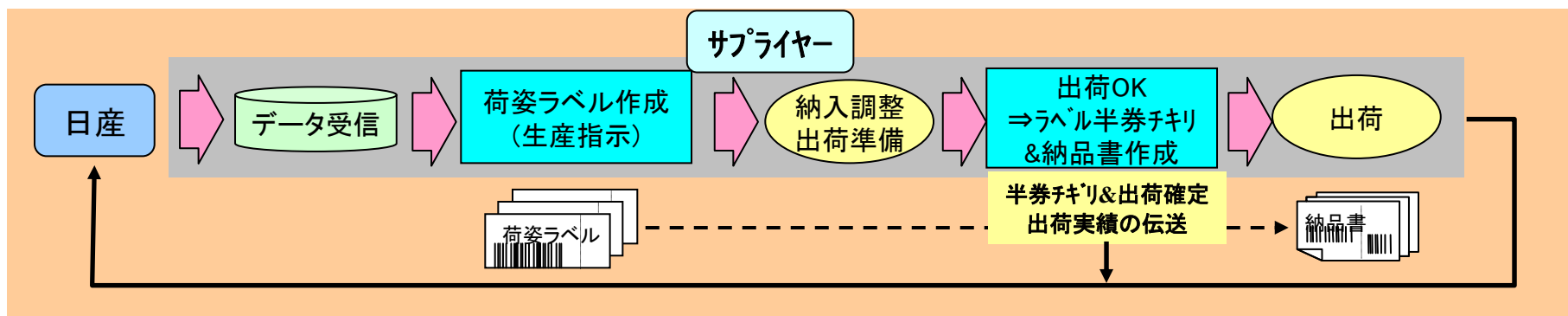


# 新PARTNERの主な変更点

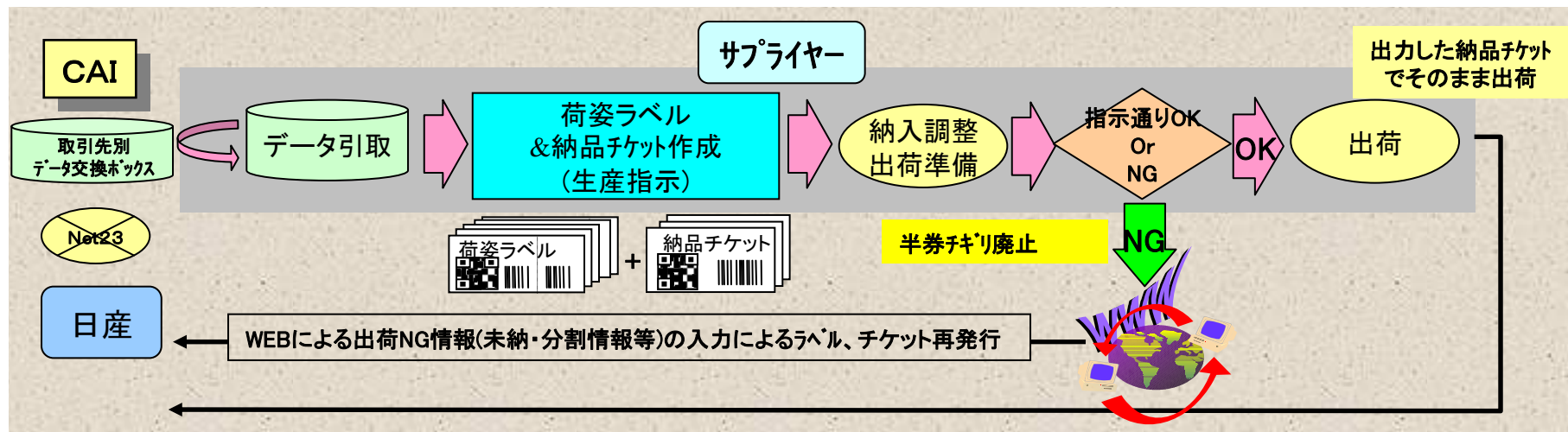


## ・ラベル半券入力による納品書出力廃止

### 業務の流れの変更(旧)



### 業務の流れの変更(新)



# 新PARTNERの主な変更点

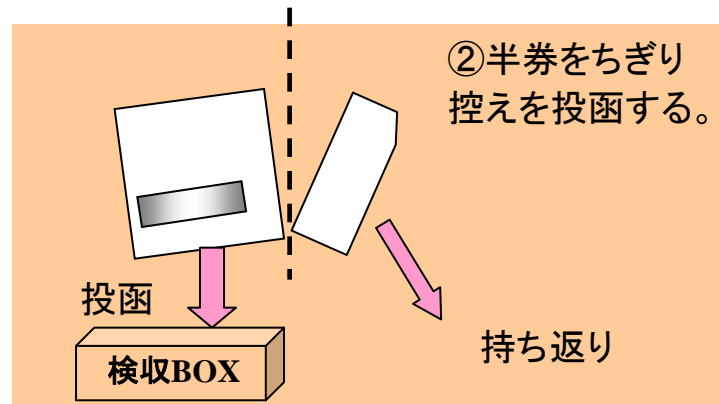
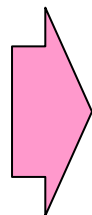


## ・検収作業の変更

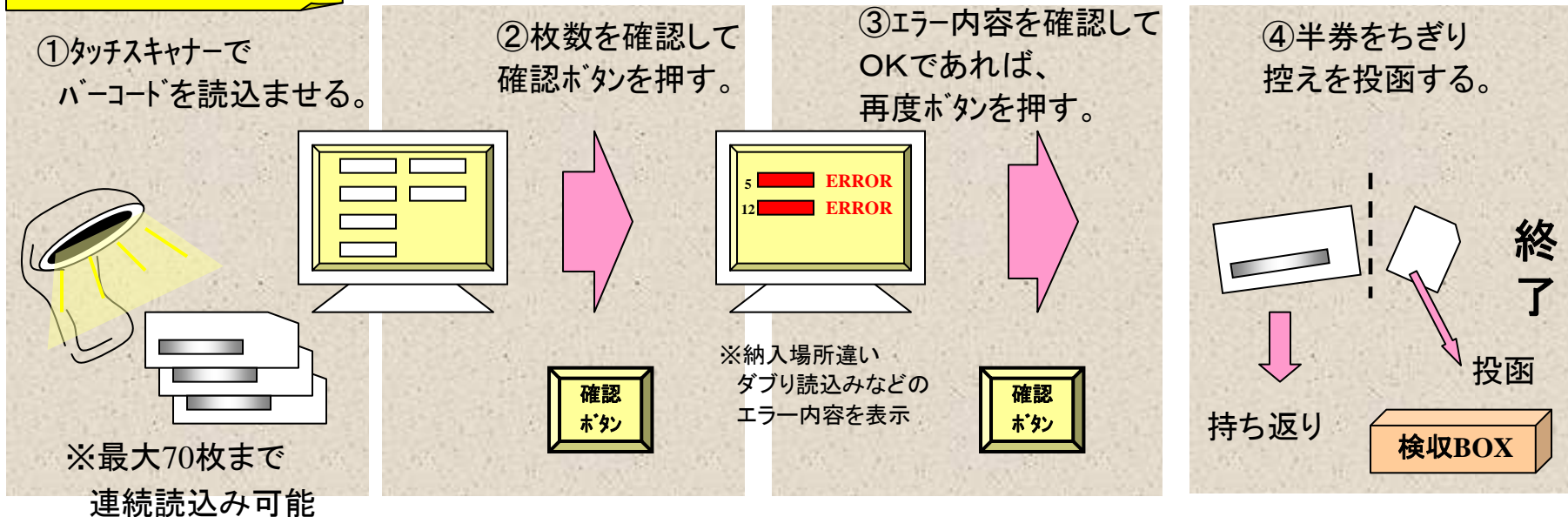
### 業務の流れの変更(旧)



検収完了



### 業務の流れの変更(新)



# 新PARTNERの活動の歩み



	FY01 4Q	FY02 1Q	2Q	3Q	4Q	FY03 1Q	2Q	3Q	4Q
DR・会議体	基本構想DR	◎基本設計DR		◎外部設計DR			◎移行判断		
		○プロジェクト発足		★11月#1 メーカー展開	★2月#2 メーカー展開	★6月#3 メーカー展開	★8月#4 メーカー展開	★10月#5 メーカー展開	
開発日程		基本設計	外部設計	内部設計・PG開発		総合トライアル ／業務トライアル	8月立上げ(第1グループ)	10月 (第2グループ)	12月 (第3グループ)
		↔ プロトタイプ開発							
関連プロジェクト		日産サプライヤポータル				'03/3月立上げ			
		新セキュリティ(認証)				'03/3月立上げ			



# 当社として苦勞した点

## ・今回の変更点の骨子・内容のサプライヤーへの認知

- ①日産独自のパッケージソフトからWEBを使った業務システムへ  
→各サプライヤーでの業務システム構築  
複数のシステムベンダーに協力を頂きサプライヤーの準備を側面支援
- ②新セキュリティ、CAI、ネットワーク等の諸申請の徹底

## ・CAIの導入

- ①当社のネットワーク環境・セキュリティーポリシーに合わせるための調整・確認にかなりの工数を要した。

## ・EDIFACTの導入

- ①EDIFACT変換の処理能力対策
- ②マッピング結果の整合性確認

# 新PARTNER導入の効果



## ・新規サプライヤーへの迅速な導入

WEBを使った業務システム、インターネットの採用により、新規サプライヤーに迅速に安く導入ができる。


## ・ラベル半券入力廃止による工数削減

当社の購買原価低減活動の1アイテムとして寄与

## ・CAI利用による保守維持管理費低減

サプライヤー間との情報授受におけるシステム

  
24時間、365日保証

  
アウトソース利用による保守維持管理費削減

## ・弊社として

### ①2次元バーコード活用の検討

## ・自工会活動として

昨年度、標準EDI導入後実態調査を実施。

2007年度より調査結果に基づく更なる今後のEDI標準化の拡大推進のための施策を実施していく。

(2007年度施策案)

- ①サプライヤ向け説明会の計画/実施
- ②複数取引をもつサプライヤーや車体メーカーへのEDIFACTの適用要請
- ③各OEMのWeb-EDI標準機能調査



---

**END**